



RPT-1 NOVA Repeater

ユーザーマニュアル

イントロダクション

目次	3
イントロダクション	4

セットアップ例

モノラル/ステレオ	6
センド/リターン	7

操作法

本体図	8
配線	9
コントロール	9

付録

仕様	15
----------	----

イントロダクション

NOVA Repeater ディレイ・ペダル

NOVA Repeater は、余計な機能を一切排除し、ディレイ・サウンドをいかに美しく、そして素早く手に入れられるかということのみにフォーカスした、コンパクト・ディレイ・ペダルです。ポール・ギルバートやダグ・アルドリッチ、ニルス・ロフグレン、アレン・ハインズなど世界トップクラスのギタリストが信頼を寄せる NOVA Delay の高品位サウンドを継承しています。

NOVA Repeater は、多くのギタリストたちのフィードバックを元に、最新の洗練されたユーザーインターフェイスの内に機能をシンプルにまとめつつ、NOVA Delay にはない新機能を追加。これぞまさに「コンパクト・ディレイの本質」とも呼ぶべき、野心的な製品が完成しました。

シンプルながらも、効果てき面

NOVA Repeater は「シンプルさ」を極めたディレイ・ペダルです。隠れた機能や複雑な操作は一切ありません。世界最高峰のディレイを、ユーザーフレンドリーなパッケージにまとめました。それでいて、この価格帯では珍しいタップ・テンポ用スイッチを配置し、また NOVA Delay でお馴染みの、ギターでリズムを刻むことによってディレイのテンポを決めることができるオーディオ・タッピング・テクノロジー

を搭載。また、6種類の高品位 TC ディレイを用意し、これ以上ないコストパフォーマンスを実現します。

新機能

NOVA Repeater は3つのディレイタイム・レンジを用意しています。このレンジを切り替えることで、「DELAY」ツマミのポジションに応じてディレイのタイミングを変更することができます。これらのタイム・レンジは多くのギタリストたちが好むスイートスポットを網羅しています。特別なタイム表示ディスプレイがなくても、きっと素早く望みのディレイタイムが見つかることでしょう。

入力部には、インストゥルメント用／ライン・レベル用の2種類のインプット端子を装備しています。直接ギターを接続することはもちろん、ラインレベル用の入力端子を使えば、アンプのエフェクト・ループ内でも使用できます。また「キルドライ」スイッチを装備しているため、NOVA Repeater をパラレル・エフェクト・ループやミキサーで使用する場合など、ドライ音を出力したくない時に効果的です。FX LEVEL (エフェクト・レベル) ツマミでウェット音単体のレベルを調整できるため、他のディレイ・ペダルでありがちなドライ音のレベルドロップも気にせずに済みます。

イントロダクション

「MOD」 ツマミも一新され、このツマミ一つでディレイ成分に付加するモジュレーション・エフェクトの種類と付加量を調整することができます。モジュレーションのコーラス部はリファインされ、よりドラマチックな効果が得られます。また多くの要望が寄せられていたビブラート・エフェクトを新たに追加し、クラシックなテープ・ディレイのエミュレーションから、ボリュームペダルと併用することで艶やかなモジュレーション・パッドまで、幅広い演出が可能となりました。

デュアル・ディレイには 1/4 と 1/8 音符が追加されました。ディレイタイムを 400ms にセットすると、あのスティーブ・ルカサーの 80 年代サウンドが得られます。

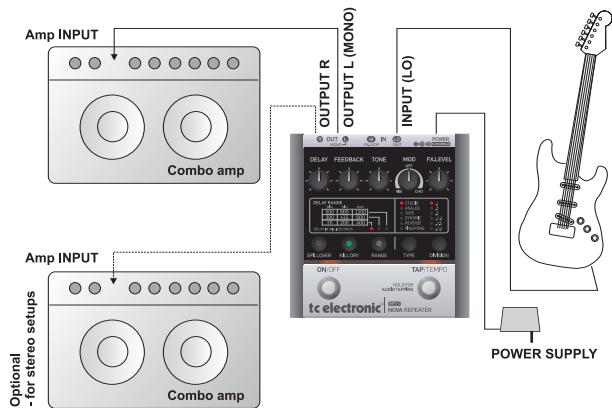
NOVA Repeater は、ダッキングのスレッシュホールドを自動的にセットする、最新のアダプティブ・ダイナミック・ディレイを搭載しています。スレッシュホールドをオンザフライで自動的に調節するため、ソロの途中でボリュームを上げたりしてもキャリブレーションをし直す必要が生じません。より幅広い場面でダイナミック・ディレイを使うことが可能となりました。

NOVA Repeater は、演奏の妨げになることなく、ストレートにギタリストの要求に応えます。シンプルな操作で世界最高峰のディレイサウンドを... ギタープレイに集中したいギタリストにとって、NOVA Repeater は決定打といえる選択肢となるでしょう。

tc electronic®

セットアップ例 - モノラル/ステレオ

MONO / STEREO

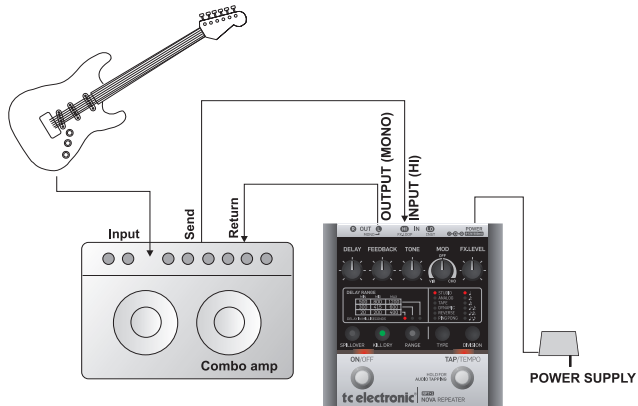


このセットアップ例は、モノラル（アンプ1台）またはステレオ（アンプ2台）での使用方法を示します。リバーブとディレイは、通常アンプの前の最後のエフェクトとして使用します。そのため、ドライブ系や他のモジュレーション・エフェクトは、NOVA Repeater ペダルの前に配置します。



アンプを歪ませる場合は、次ページの「センド/リターン」をご参照ください。

セットアップ例 - センド／リターン



このセットアップ例は、NOVA Repeater をエフェクト・ループのセンド／リターン・エフェクトとして使用する際の使用方法を示します。アンプのプリアンプ部を歪ませる場合には、この例の接続を行います。

このセットアップをステレオに拡張する場合は、NOVA ペダルのライト・アウトプットを2台目のアンプのリターンに接続します。



パラレル・エフェクト・ループには、キルドライ機能を使用します。

本体図



配線

1 POWER - パワー

NOVA Repeater は、9-12V DC 300mA を必要とします。製品に付属の 12V パワーサプライを使用するか、同様の仕様を持ったパワーサプライをご使用ください。9V しか供給しない場合には、NOVA Repeater のインプットのダイナミックレンジが減少します。通常これが問題になるのは、直前にドライブやブースト系のペダルでアウトプットを上げている場合のみとなります。

2/3 HI IN & LO IN - ハイ・インプット/ロー・インプット

NOVA Repeater は LO (ロー) と HI (ハイ) のインプットが用意されています。どちらを使うかは、接続している機器の出力がどれだけホットかによります。一般的には、信号がプリアンプやホットなブースト/ドライブ・ペダルを経由している場合は HI を使用し、それ以外の場合は LO を使用します。もちろん、両方を比べた上でサウンドが良い方を選ぶ、という耳に頼った選択方法も OK です。

4 R OUT & L OUT - R (右) & L (左) アウトプット

アウトプット用の 1/4"モノラル・ジャックです。モノラルの場合は L 端子を、ステレオの場合は L/R 両方の端子を使用します。アウトプットはステレオ・センシング型で、片方しか接続されていないか

両方接続されているかを自動的に検知します。モノラルのセットアップでは L のみを接続してください。そうすると、L/R 両アウトプットのディレイ成分が L 側から出力されます。

コントロール

5/10 DELAY / DELAY RANGE -

ディレイ・ノブ/ディレイ・レンジ・テーブル

DELAY ノブは、ディレイ・タイムを調節します。反時計回りに回すとディレイ・タイムは短くなり、時計回りに回すと長くなります。最大ディレイ・タイムは、ディレイ・レンジの設定によって異なります。レンジは、RANGE ボタンで設定します。選択肢は次の通りです。



操作法

6 FEEDBACK - フィードバック・ノブ

ディレイの出力が、ディレイ・ラインの入力に循環する量を指定します。セッティングが高い程、反復の回数が増えます。

7 TONE - トーン・ノブ

「12時」の設定が標準的なセッティングです。反時計回りに回すとハイエンドがアッテネートされます。ほとんどの場合において、こうすることによってディレイ成分がサウンド全体に馴染みやすくなります。

TONE ノブは、単なるベース/トレブルのコントロールではありません。その機能と効果はディレイ・タイプによって異なります。多くの場合、反時計回りに回しきった状態から時計回りの向きに回していくにつれて、「ツブの粗い」状態から「スタジオ・クオリティ」のベクトルでサウンドが変化します。

8 MOD - モジュレーション・ノブ

ディレイ成分にモジュレーションを与えることができます。モジュレーションの種類は、ビブラート (VIB=Vibrato) とコーラス (CHO=Chorus) のいずれかを選択できます。時計回りに回すとコーラスが、反時計回りに回すとビブラートがかかります。このシンプルな機能はディレイ成分にのみかかる設計になっており、原音に影響を

及ぼすことはありません。

9 FX LEVEL - エフェクト・レベル・ノブ

ドライ信号には影響することなく、ディレイ成分のみのレベルを調節します。原音は常に 1:1 で出力されます (キルドライ機能で原音を切る場合を除く)。



FX LEVEL ノブを時計回りに回しきると、ディレイとドライ信号を合わせた最終的な出力レベルは元のサウンドと比べて最大で 6 dB 大きくなります。

11/16 TYPE - タイプ・インジケーター & ボタン

6種類のディレイ・タイプが用意されています。各ディレイ・タイプの標準的なサウンドを得るには、全てのノブを 12時の設定にします。

Studio (スタジオ) : 伝説的名機 TC 2290 をインスピレーションとした、スタンダードな高品質ディレイ・ラインです。まずは TONE と MOD を 12時にセットした状態からお試ください。

Analog (アナログ) : アナログ・ディレイは、トーンの微妙な色づけと、一番高い周波数帯域におけるソフトなクリッピングが最も特徴的です。FX LEVEL を高めに設定してもミックスの収まり良い効果です。ディレイ・タイムによってトーンの色づけが変わる点にも注目して

ください。昔ながらのアナログ・ディレイのように、遅めのディレイ・タイムではクリアなディレイ成分が得られ、速めのディレイ・タイムではダークなディレイ成分となります。

Tape (テープ) : 往年のテープ式ディレイ機のサウンドを、高めのインプット・レベルで生じるクリッピングを含めて、再現します。高めのフィードバック・レベルと、TONE コントロールを反時計回りに回しきった状態からお試してください。若干のモジュレーションを加えてもいいかもしれません。

Dynamic (ダイナミック) : ダイナミック・ディレイは名機 TC2290 で初めて搭載された機能で、入力レベルのダイナミクスをディレイの出力レベルに連動させます。演奏中はディレイのレベルを下げて、演奏を止めるとディレイのレベルを上げることにより、原音をクリアに聞かせ、演奏していない時点でディレイ成分をより明確に聞かせることができる、デリケートで上品な効果です。NOVA Repeater はアダプティブなスレッシュホールドを持ち、自動的に最適なスレッシュホールド値を維持します。

Reverse (リバース) : リバース・ディレイは、ミステリアスでエギゾチックなサウンドを演出します。インプット信号は、サンプルされた上で逆再生されます。高めのディレイ・レベルでは、逆に演奏して

いるような効果を得られます。

PingPong (ピンポン) : ピンポン・ディレイは、ディレイ成分を左右にパンニングし、ステレオ感を強調します。

12/17 DIVISION - ディビジョン・ノブ & サブディビジョン・ディスプレイ

これらの設定はタップ・テンポに関連します。4分音符でテンポをタップし、実際のディレイをどの音符とするかを指定します。拍を指定するには、TYPE ボタンを押します。

ここでは、いくつかの可能性を紹介します。これらはあくまでも設定の参考ですので、様々な設定を試して自分ならではのセッティングを見つけてください。

操作法



4分音符：タップしたテンポの4分音符でディレイが反復します。120 BPMで4分音符をタップした場合は、ディレイタイムも同じ120 BPM (500 ms) となります。



符点8分音符：ギターのリズムとディレイの掛け合いで一つのパターンを作っていくスタイルに多用される設定です。高めのディレイ・レベルで4部音符を弾いてみてください。



3連8分音符：50年代スタイルの6/8のリズムに適しています。6/8の曲で4拍目のみを鳴らしてみてください。

次のディレイ・タイプはデュアル・ディレイの構成で、左右のディレイを異なる拍で鳴らせます。3種類の組み合わせが用意されています。



レフト・アウトプット：4分音符
ライト・アウトプット：符点8分音符



レフト・アウトプット：4分音符
ライト・アウトプット：3連8分音符



レフト・アウトプット：4分音符
ライト・アウトプット：8分音符



レフト・アウトプットのみを接続しているセットアップでデュアル・ディレイを選択すると、左右のディレイ成分が両方ともレフト・アウトプットから出力されます。

13 SPILLOVER - スピルオーバー・ボタン

ボタンを押してスピルオーバー機能をオンにすると、ペダルをバイパスした時にそれまでのディレイの余韻が鳴り続けます。バイパスした時に瞬時にディレイ成分を切りたい（止めたい）場合は、この機能をオフにします。

14 KILL DRY - キルドライ・ボタン

NOVA Repeater をパラレル・エフェクト・ループやラインミキサーを使ったセットアップに組み込む場合には、ボタンを押してキルドライ機能をオンにします。

キルドライをオンにすると、原音がNOVA Repeater から出力されなくなります。

15 RANGE - レンジ・ボタン

ディレイ・タイムの設定はDELAY ノブで行ないます。ディレイ・タイムの設定を正確に行なえるよう、ディレイ・タイムは3つのレンジに分かれています。RANGE ボタンを押すと、ノブの可変幅が20～400 ms、300～600 ms、500～1200 msの順に切り替わります。



ノブからは1200 ms以上のディレイ・タイムを指定できませんが、タップ・テンポでは2290 msまでのディレイ・タイムを得られます。

16 TYPE - タイプ・ボタン

ディレイ・タイプを選択します。10ページ「11/16 TYPE インジケータ & ボタン」をご参照ください。

17 DIVISION - ディビジョン・ボタン

ディレイの拍を指定します。11ページ「12/17 DIVISION - ディビジョン・ノブ & サブディビジョン・ディスプレイ」をご参照ください。

18 ON/OFF - オン/オフ・スイッチ & LED

NOVA Repeater のオン/オフ・スイッチです。スイッチの上にあるLEDがペダルの状態を示します。ペダルをオンにすると、点灯します。

19 TAP - タップ・スイッチ & LED

NOVA Repeater では、いくつかの方法でディレイ・タイムを指定できます。一番シンプルな方法は、DELAY ノブから、指定した可変幅の範囲で直接ディレイ・タイムを変更する方法でしょう。

タップ・テンポとサブディビジョン機能を組み合わせる方法も用意されています。この場合の操作はいたって直感的に行なえます。

タップ・デンポによるテンポの入力方法は2つ用意されています：

- テンポに合わせてTAP/TEMPOスイッチを踏む
- Audio Tap Tempo™ (オーディオ・タップ・テンポ™) 機能を使用する

例：TAP/TEMPOスイッチによるタップ・テンポの入力方法

- テンポに合わせて、4分音符でTAP/TEMPOスイッチを踏みます。TAP/TEMPO LEDがテンポに合わせて点滅し、ディレイはそのテンポの、DIVISIONボタンで指定した音符で鳴ります。

テンポの指定はペダルをバイパスしている間にも行なえますので、曲間で、次の曲に入る前に事前にテンポを指定しておくことが可能です。

操作法

例：テンポのオーディオ・タップ：

- TAP/TEMPO スイッチを長押しします。出力がミュートされたら、楽器で 4 分音符を刻みます。TAP/TEMPO LED がテンポに合わせて点滅します。
- TAP/TEMPO スイッチから足を離します。ディレイは指定したテンポの、DIVISION ボタンで指定した音符で鳴ります。

以上で、オーディオ信号からのグローバル・テンポの設定は完了です。

本マニュアルをお読みいただき、ありがとうございました。

ここまで読み進める間に、NOVA Repeater をすでにお楽しみいただけていることと存じます。本マニュアルをご一読いただいた上でご質問や疑問をお持ちでしたら、TC のオンライン・サポート・サービス、TC Support Interactive (TC サポート・インタラクティブ) をご利用ください (<http://tcjsupport.custhelp.com>)。多くのユーザー様からいただいたご質問とその答えを掲載したり、マニュアルのアップデートを行ないます。マニュアルの改訂版はウェブサイトから PDF 形式で配布されます。マニュアルの版は、ページ 3 に記載されています。

tc electronic



アナログ入力

コネクター	1/4" フォーン・ジャック、モノ・センス
インプット・タイプ	シングル・エンド
インピーダンス	1 M Ω
最大入力レベル	10 dBu @ 12V サブライ

アナログ出力

コネクター	1/4" フォーン・ジャック、モノ・センス
最大出力レベル	10 dBu @ 12V サブライ
アウトプット・タイプ	バランス/シングル・エンド、グラウンド・センス
インピーダンス	0 Ω
センス・インプット・インピーダンス	225 Ω

性能

D/A 変換	24 ビット、128x オーバーサンプリング・ビットストリーム
A/D/A 遅延	1.65 ms
ダイナミックレンジ	106 / 98 dB、20 Hz ~ 20 kHz @ Input Level 16 / -2 dBu、非 A-weighted
THD	< -90 dB (0.0032 %) @ 1 kHz、I/O Level 16 dBu、負荷 > 2400 Ω
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz +0.1 / -0.2 dB
クロストーク	< -100 dB (20 Hz ~ 7 kHz)、 < -94 dB (7 kHz ~ 20 kHz)

EMC

準拠規格	EN 55103-1 and EN 55103-2 FCC Part 15, Class B, CISPR 22, Class B
------	--

環境

作動環境温度	0° C ~ 50° C (32° F ~ 122° F)
保管環境温度	-30° C ~ 70° C (-22° F ~ 167° F)
湿度	最大 90 % (結露なきこと)

一般

仕上げ	アノダイズ・アルミニウム・フロントプレート 及びペイント・スチール・エンドキャップ
寸法	130 x 130 x 55 mm
重量	765 g
電源	100 ~ 240 VAC、50 / 60 Hz (自動選択) AC ウォール・アダプター AC アダプターは最低 0.3A 12VDC を ペダルに供給
消費電力	< 5 W

保証

部品ならびに作業	1 年
----------	-----

製品の改良のため、仕様は予告なく変更となる場合がございます。

tc electronic